

【開催要領】

第 218 回農林交流センターワークショップ

メッシュ農業気象データ利用講習会

令和元年 6 月 27 日(木)～6 月 28 日(金)

内 容 :

近年の温暖化傾向に伴い、高温による減収や品質低下が各地で問題となっており、これを克服する技術の開発が全国で進められています。また、農業人口の高齢化に伴って「担い手」に集積する小規模で分散した圃場を効率的に経営するために、複数の作物や品種を組み合わせる機械の稼働や労働を平準化する技術が求められています。

メッシュ農業気象データシステムは、このような技術の開発を支えることを目標に開発された気象情報サービスで、1980 年から来年までの広い期間の多彩な日別気象値と、気候温暖化シナリオを 1km メッシュで全国についてオンデマンドで取得することができます。

本ワークショップは、メッシュ農業気象データについて理解するとともに、プログラミング言語 Python や表計算ソフト Excel でこれを処理する技術を習得します。

期 間 : 令和元年 6 月 27 日(木)～6 月 28 日(金)

場 所 : 農研機構 第一研究本館 大会議室 (つくば市観音台 3 - 1 - 1)

主 催 : ○農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
○国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター

対 象 : 産学官で研究・開発に従事している方で、気象データの農業利用に関心のある方

募 集 人 数 : 36 名

日 程 : 日程表(別紙)

※全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。

用 意 す る 物 : 指定するソフトウェアがインストールされたノート PC (※下記条件をご確認下さい。)

1. 以下の条件を満たしたノート PC をご用意ください。

- ・無線または有線の LAN 接続機能を有する。
- ・OS は Windows7 以降、または、Mac OS X 10.11 以降。
- ・トラブル対処のため、管理者権限でもログイン可能。
- ・Microsoft Excel (Windows は Excel2013 以降、Mac は Excel2016 以降) をインストール済み。

2. 実習で Anaconda(<https://www.anaconda.com/>)を使用します。受講決定後、セットアップの資料を送付しますので、事前にセットアップをお願い致します。

<その他> -----

・当日使用される PC のアカウント名に日本語を使用しているとアプリケーションが誤作動を起こすことがある為、受講決定後、アルファベットのアカウントを各自別途作成して頂きますようお願い致します。(権限は一般ユーザで構いません)

受講の注意点：本講習会には「Pythonによるプログラミングの基礎」の講義が含まれますが、プログラミング未経験の方がこの講義のみで Python を習得することは困難です。そのため、プログラミング未経験の方で、本講習を通じて Python を利用したメッシュ農業気象データ処理を習得したい方には事前学習をしたうえで講義に参加して頂きます。講習当日は事前学習を終えているものとして講義をおこないます。事前学習用の資料は受講決定後に配付いたします。事前学習は民間のビジネスチャット Slack 上でサポートします。また、講習会の前日に講師が直接指導するサポートタイムを設けますので、そちらへの参加もご検討下さい。

2日目の実習ではグループに分かれて、メッシュ農業気象データを利用したアプリケーションを実際に開発していただきます。開発したいアプリケーションのアイデアや参考資料等を事前に準備いただくとスムーズに実習を進めていただけます。

申込方法：下記にて5月16日（木）までにお申し込み下さい（必着）。

○農林水産省関係の国立研究開発法人等に所属している方
筑波産学連携支援センターのホームページから「申込書・アンケート」をダウンロードし、所属機関の窓口を通じてお申し込み下さい。

○上記以外の方（大学・公立研究機関・民間企業等に所属している方）
筑波産学連携支援センターのホームページのお申し込みフォーム
(<https://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/tbh/218meteorological>)
からお申し込み下さい。

(なお、申込書に記載の個人情報は本ワークショップに係る事以外に使用することはありません。)

受講者の決定：5月24日頃、メールにてお知らせいたします。

参加費：無料 ※受講後のアンケート回答は必須です(5～15分程度)。

交通・宿泊費等：各自負担(筑波産学連携支援センターの宿泊施設をご利用いただけます。)
宿泊施設予約の有無は、受講決定後にお伺いいたします。

お申し込み・お問合せ先

〒305-8601 茨城県つくば市観音台 2-1-9

農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
コーディネーション推進課 鈴木・木暮（きぐれ）

TEL：029-838-7136 FAX：029-838-7204

✉：koryu7129@cc.affrc.go.jp

【日 程 表】
第 218 回農林交流センターワークショップ
メッシュ農業気象データ利用講習会

令和元年 6 月 27 日(木)～6 月 28 日(金)

6 月 27 日 (木)

9:00-09:05	挨拶	農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課長	荒川 智幸
9:05-09:15		オリエンテーション	中野 聡史
9:15-09:30		参加者・講師自己紹介	
9:30-10:00	講義	メッシュ農業気象データの利用について	佐々木華織
10:00-10:30	講義	メッシュ農業気象データの特長について	桑形 恒男
10:30-10:40	(休憩)		
10:40-11:10	講義	2週間予報値の紹介と活用	萱場 亙起
11:10-11:30	講義	メッシュ温暖化シナリオデータについて	西森 基貴
11:30-12:00	実習	メッシュ農業気象データの取得 1 Excel の利用	根本 学
12:00-13:00	(昼食)		
13:00-14:00	実習	Python によるプログラミングの基礎	片柳 薫子
14:00-14:30	実習	メッシュ農業気象データの取得 2 Python の利用	根本 学
14:30-14:40	(休憩)		
14:40-15:40	実習	Python によるメッシュ農業気象データの処理 1	川方 俊和
15:40-16:40	実習	Python によるメッシュ農業気象データの処理 2	大久保 さゆり
16:40-17:10	討論	グループで開発するアプリケーションの検討	中野 聡史

6 月 28 日 (金)

9:00-12:00	実習	グループごとにメッシュ農業気象データを利用するアプリケーションを開発	中野 聡史 小南 靖弘
12:00-13:00	(昼食)		
13:00-15:00	発表	グループで開発したアプリケーションの発表	中野 聡史

【講 師】 (◎はコーディネーター)

- ◎中野 聡史 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 主任研究員
- 佐々木華織 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 主任研究員
- 桑形 恒男 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 ユニット長
- 萱場 亙起 気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課 異常気象情報センター 気候リスク対策官
- 西森 基貴 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 ユニット長
- 根本 学 農研機構 北海道農業研究センター 生産環境研究領域 主任研究員
- 片柳 薫子 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 研究員
- 川方 俊和 農研機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 上級研究員
- 大久保 さゆり 農研機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 主任研究員
- 小南 靖弘 農研機構 北海道農業研究センター 大規模畑作研究領域 グループ長